

卵子バンク 手探り船出

国内無償提供 近く数人決定

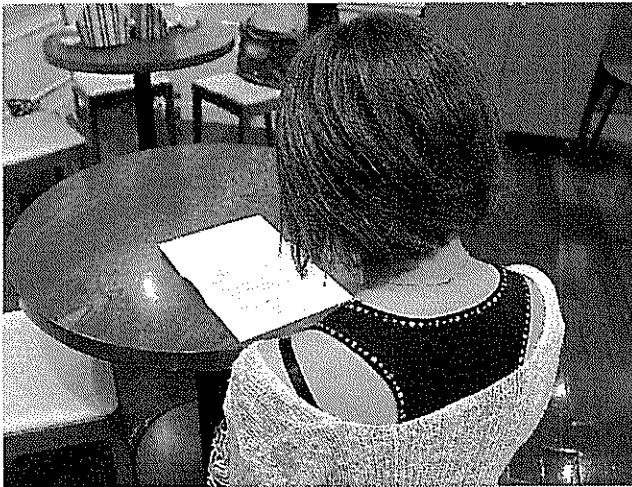
不妊夫婦に無償で卵子を提供する国内初の「卵子バンク」がスタートする。民間団体による提供の呼びかけに100人以上が応募、提供者の候補が38人に絞られ、近く数人が正式に決まる見通しになった。

法整備・体制作り進まず

卵子が原因の不妊夫婦に無償で卵子を提供する「卵子バンク」は、不妊女性にとって希望になるもの。ただ、卵子提供のルールなどの法整備の議論は、10年間進んでいない。生まれた子に出自をどう知らせるのか。提供者や将来の子どもの支えをどう支えていくのか。体制作りはこれからの重い課題だ。

子と対面するなら「段階的に」

卵子提供の募集に応じ、近く候補者に決まる見通しの看護学生の女性(26)が取材に応じ、理由や心情を語った。



卵子提供候補者の女性。「私の卵子で幸せになれる人がいるなら協力したい」と話す

候補の26歳女性

「出目を知る権利」をどう保障するかも未解決だ。民法は生殖医療で生まれた子を想定していないため、親子関係について明確な規定はなく、生みの親が法的な親として扱われる。国内では50年以上前から匿名の第三者による精子提供が行われ、同じ課題を突きつけてきた。

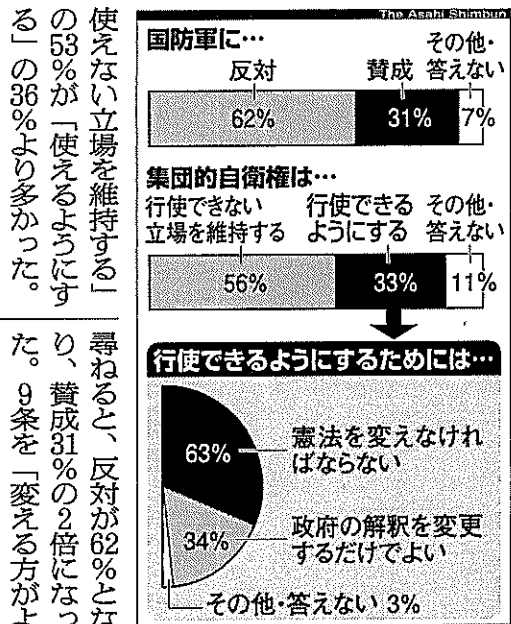
年内に福島調査 IAEAへ報告

原子力規制委員会は1日、東京電力福島第一原発事故の原因を調査する検討会の初会合を開いた。規制委の報告書を年内にまとめ、国際原子力機関(IAEA)に提出することを決めた。国会や政府の事故調査をまとめた。しかし、依然として未解明な部分も多い。このため規制委が専門家らによる検討会を組織し、調査を続けることにした。

集団的自衛権の行使 できない立場維持 56%

本社世論調査

憲法をテーマにした朝日新聞社の全国郵送世論調査で集団的自衛権について尋ねると、「行使できない立場を維持する」が56%で多数となり、「行使できる」



国防軍の設置は自民党と安倍首相が訴えてきたが、いざという時にも有権者の反対が根強いようだ。安党内閣の支持率は66%、不支持率は24%。郵送調査は電話調査に比べ、支持や不支持が比較的高くなる傾向がある。

この内閣支持層でも、集団的自衛権の問題では「行使できない立場を維持する」が52%で、「行使できる」

文藝春秋の本 天才絵師・狩野山本兼 花鳥 棺に陰 西村賢太 深海の森村誠一 映画の話が本音を申せば 小林信彦 京都・大原さんちのわたしの十 大原千鶴